



折板カーポート 異形対応

取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味

**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号

**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>

**注意**

※製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

●部材の固定

- ・タッピングネジの下穴には指定より太いボルトを使用しないでください。
- ・必ず指定の組立ネジ・ボルトを使用してください。また施工後、ネジ・ボルトにゆるみがないか点検してください。

●柱移動は当社指定範囲内にしてください。

※水漏れのおそれがありますので、下記事項をお守りください。

●シーリングについて

- ・指定の箇所に必ずシーリングをしてください。

<取付上のお願い>

**ポイント**

- 本製品施工の際は、D522(MAM-45)、D523(MAM-46)「取付説明書 -基本・横連棟-」、D524(MAM-48)「取付説明書 -縦連棟-」を併せてご使用ください。
- 取付けは専門業者が行なってください。専門知識のない方が取付けされると不具合発生の原因となることがあります。
- 折板は必ず2つ以上の梁にのせるようにしてください。
- 折板の梁からの持出し寸法は本体取付説明書に記載された標準納まり以下の寸法にしてください。
- 1台・2台用の設定となります。
- 型材のL寸法が6120mmを超えるものは作成できません。
- 縦樋は必ず指定本数以上取付けてください。

■ 梱包明細表

【1】 異形コーナーブロックセット

名称	員数		
	出幅	入隅	隅切り
自在コーナーブロック (出隅用)	1	-	-
コーナーブロック (入隅用)	-	1	-
コーナーブロック (隅切り)	-	-	1
前後枠連結金具 (自在) A	-	-	2
前後枠連結金具 (自在) B	-	-	1
雨樋連結パッキン	-	-	1
【1-1】 $\phi 4 \times 16$ ナベドリルネジ3種	10	10	10
【1-2】 $\phi 4 \times 16$ ナベドリルネジ (SUS410スズメッキ)	2	2	2
【1-3】 $\phi 4 \times 16$ ナベタッピンネジ	-	-	6
【1-4】 $\phi 4 \times 10$ トラスタッピンネジ3種	6	-	6
取付説明書 (D540/MAM-42)	1	1	1

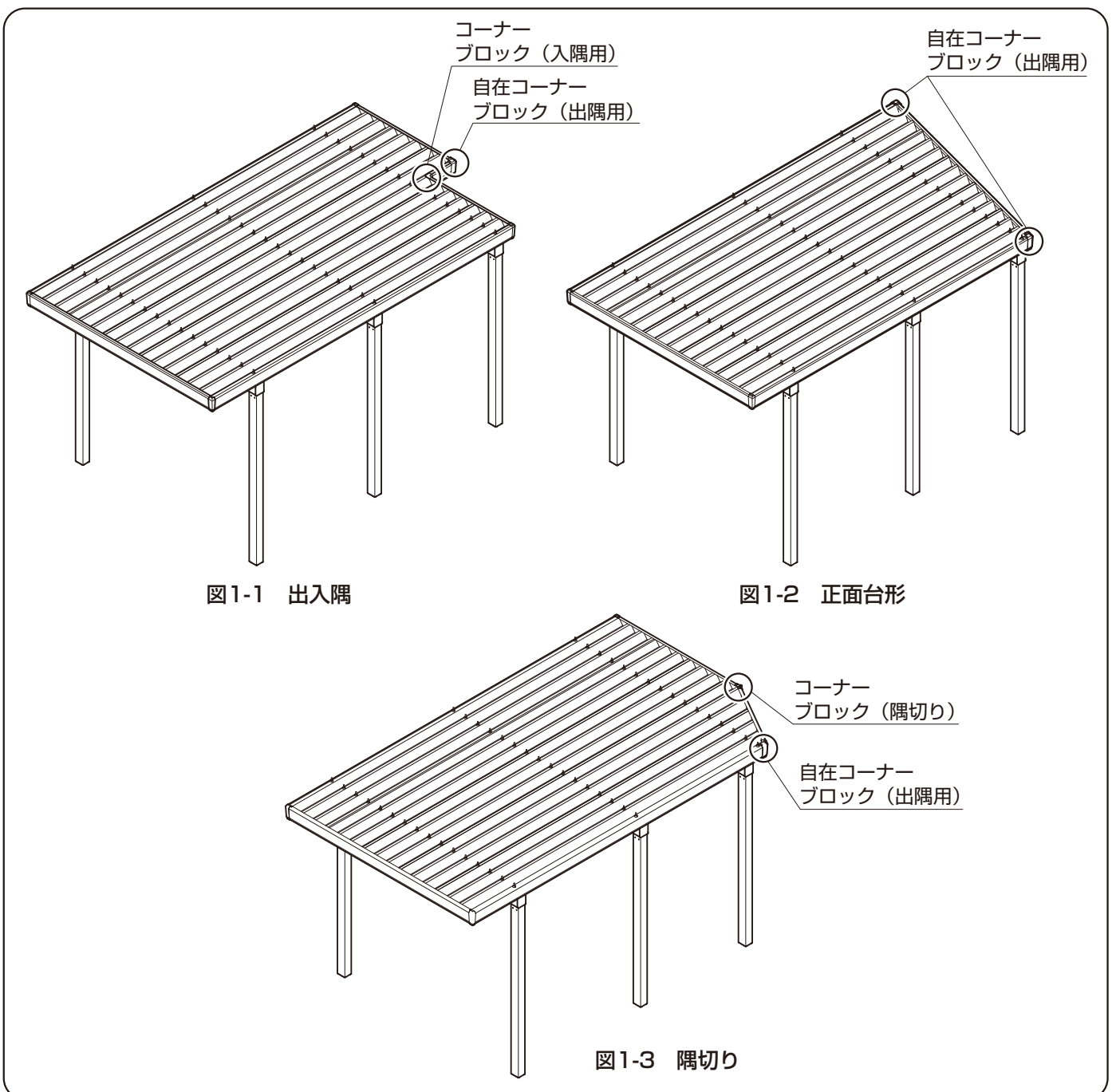
【2】 雨樋端部キャップセット

名称	員数
雨樋端部キャップL/R	各1
【2-1】 $\phi 4 \times 16$ ナベドリルネジ	2

【3】 前後枠セット

名称	員数	
	水上用	水下用
前後枠 (上)	1	1
前後枠 (下)	1	-
雨樋	-	1

1. 代表的な施工例

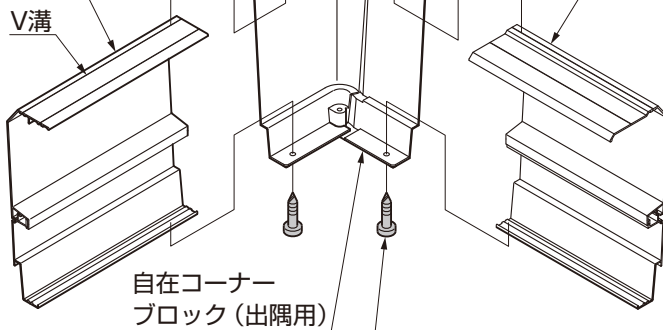


2. 基本寸法と各部の名称

2-1 基本寸法

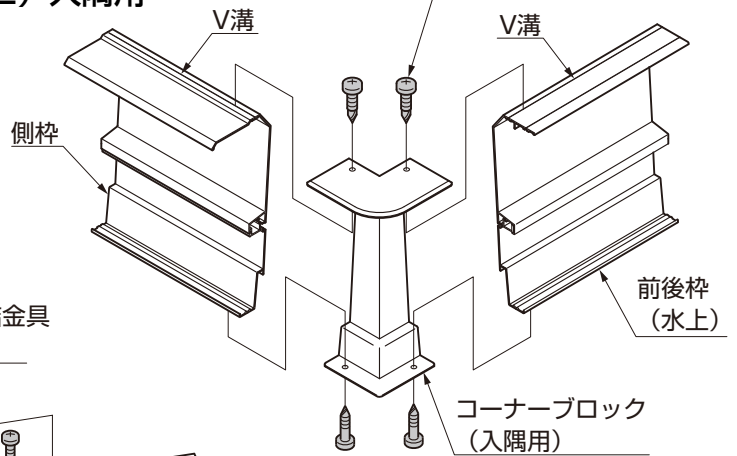
(1) 出幅用

前後枠 (水上)



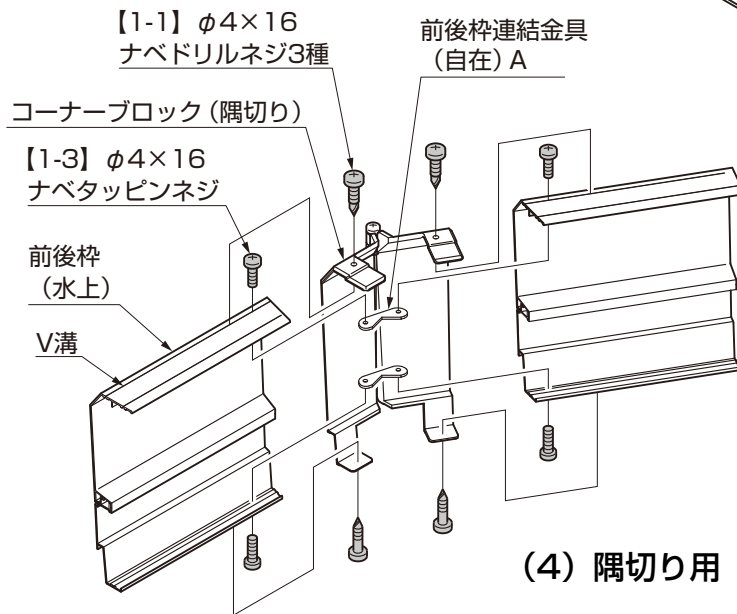
【1-1】φ4×16ナベドリルネジ3種

(2) 入隅用



【1-1】φ4×16
ナベドリルネジ3種

(3) 隅切り用 (水上)



【1-1】φ4×16
ナベドリルネジ3種

コーナーブロック (隅切り)

【1-3】φ4×16
ナベタッピンネジ

前後枠
(水上)

V溝

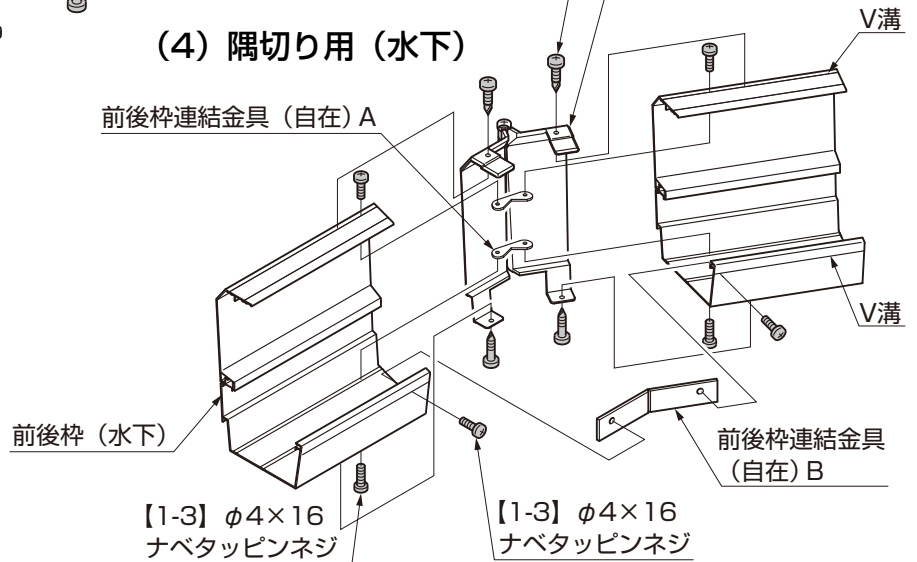
前後枠連結金具
(自在) A

【1-1】φ4×16
ナベドリルネジ3種

コーナーブロック (隅切り)

V溝

(4) 隅切り用 (水下)



前後枠連結金具 (自在) A

前後枠 (水下)

【1-3】φ4×16
ナベタッピンネジ

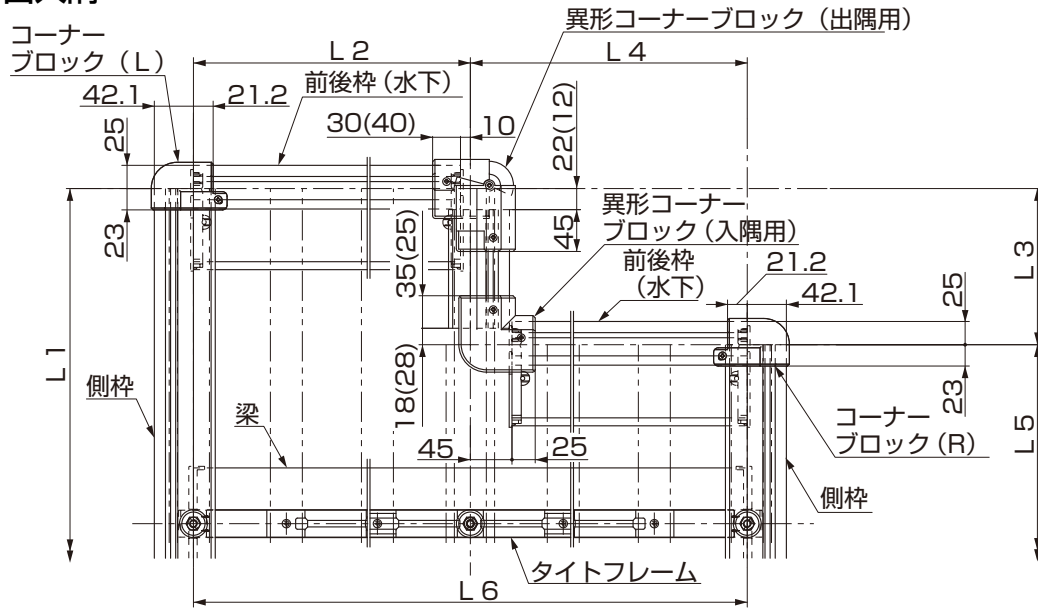
【1-3】φ4×16
ナベタッピンネジ

前後枠連結金具
(自在) B

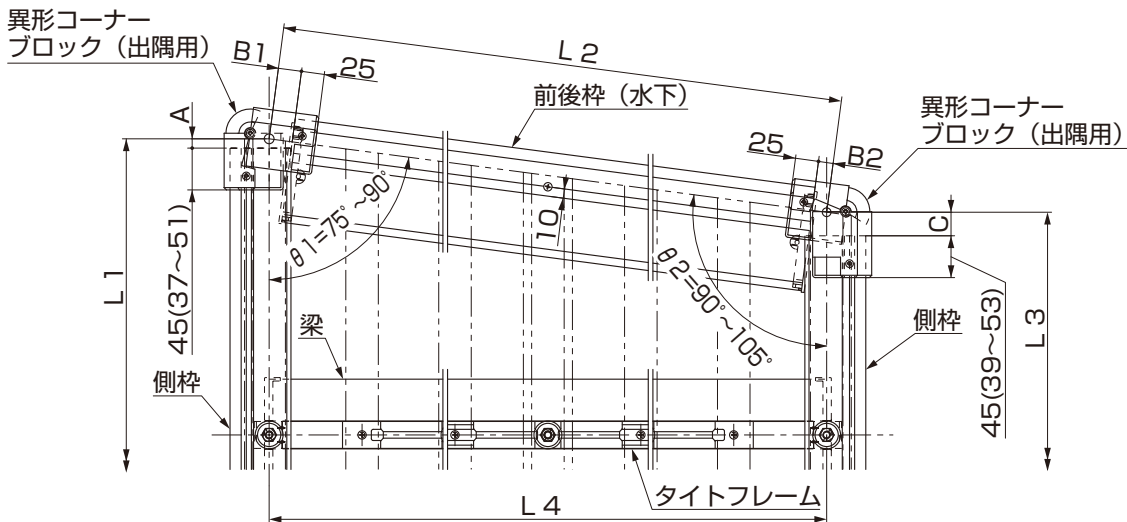
V溝

3. 断面納まり図 ※ () は逆使用の場合の寸法を示します。

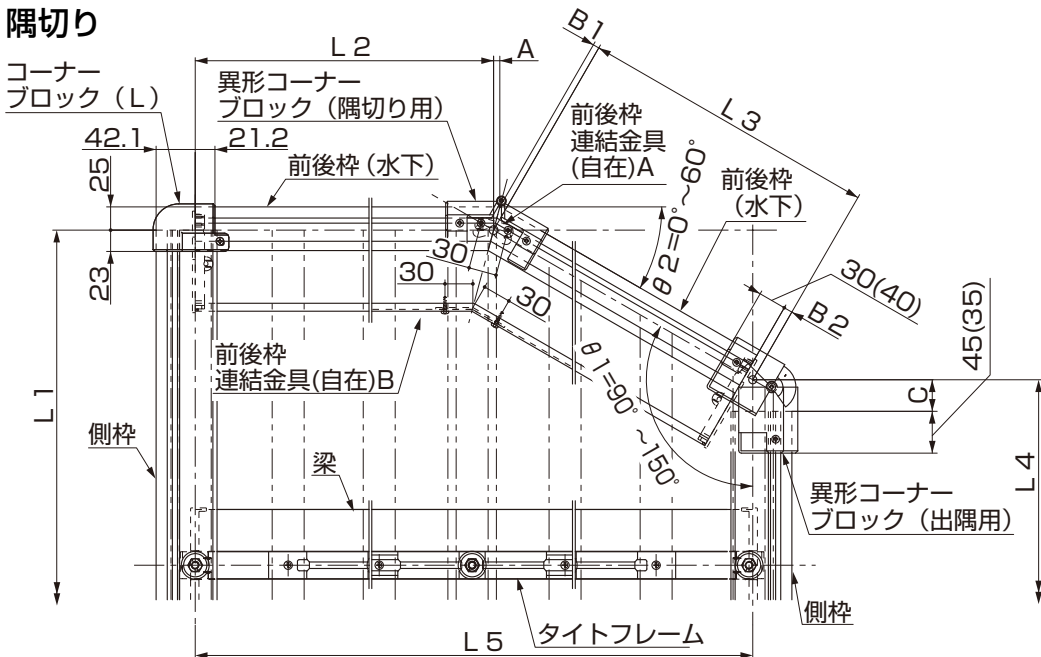
3-1 出入隅



3-2 正面台形



3-3 隅切り



4. 出入隅の場合の施工

4-1 施工制限 ※ () 内寸法は梁240Wの場合の寸法です。

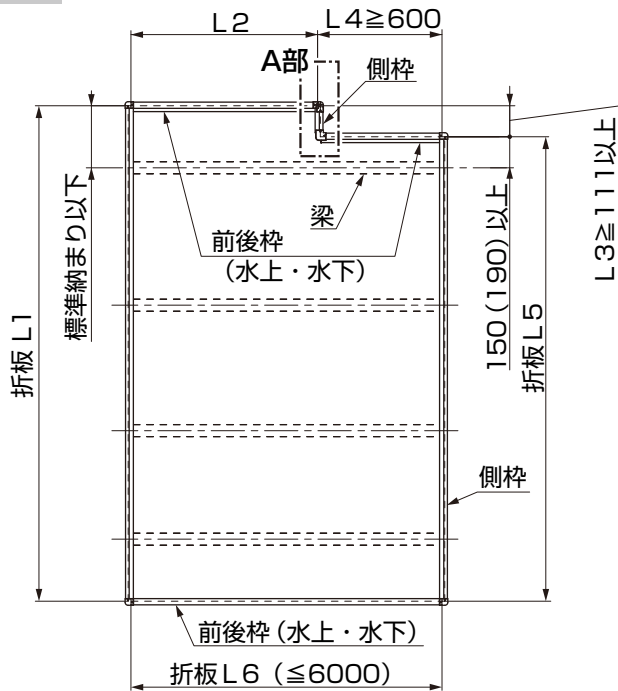


図4-1 入隅部に梁が入らない場合

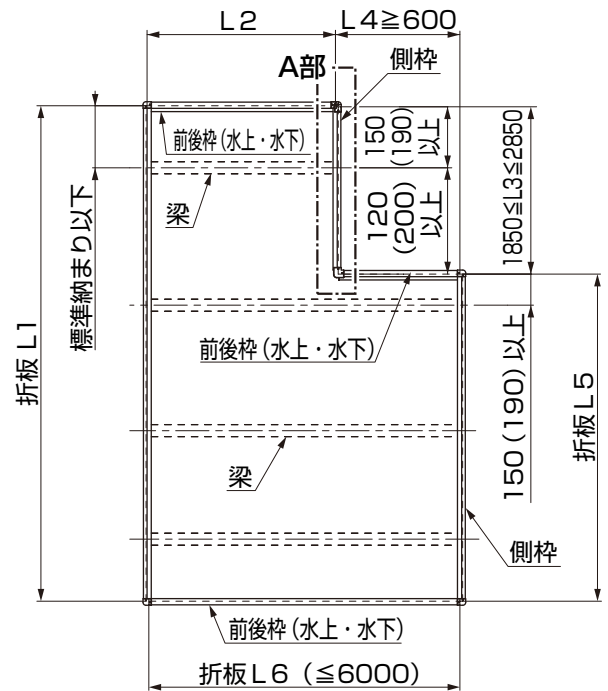


図4-2 入隅部に梁が入る場合

表4-1 施工可能寸法表

タイプ	サイズ		柱本数	出入隅			
				L3	折板はね		L4
	長さ	幅		最小	出し最小	最小	最大
900 ・ 1500	55	30	4	111	150	600	2400
	60	30					2400
	55	55					4800
	60	55					4800
	55	60					5400
	60	60					5400
3000	55	30	6	111	150	600	2400
	60	30					2400
	55	55					4800
	60	55					4800
	55	60					5400
	60	60					5400
	55	30					2400
	60	30					2400
	55	55					4800
	60	55					4800
	55	60					5400
	60	60					5400

タイプ	サイズ		柱本数	出入隅			
				L3	折板はね		L4
	長さ	幅		最小	出し最小	最小	最大
4500	55	30	6	111	150	600	2400
	60	30					2400
	55	55					4800
	60	55					4800
	55	60					5400
	60	60					5400
	55	55					4800
	60	55					4800
	55	60					5400
	60	60					5400
6000	55	30	8	111	150	600	2400
	60	30					2400
	55	55					4800
	60	55					4800
	55	60					5400
	60	60					5400
	55	60					5400
	60	60					5400

ポイント

- 出入隅は1台・2台用の設定となります。「3. 断面納まり図」を参照して施工してください。
- 折板は必ず2本以上の梁（タイトフレーム）に取付けてください。また梁からのはね出し寸法は標準納まり以下にしてください。
- 施工可能寸法表の寸法範囲内で施工してください。（図4-1、図4-2、表4-1参照）
- 敷地に合わせてL1、L3、L5、L6を決めてください。
- 柱本数・柱スパンなどは長さL1、幅L6の長方形とみなしてそのサイズ、強度に準じて施工してください。（D522 (MAM-45)、D523 (MAM-46)「取付説明書 - 基本・横連棟-」、D524 (MAM-48)「取付説明書 - 縦連棟-」参照）

4. (つづき)

4-2 部材の加工

(1) 折板の加工

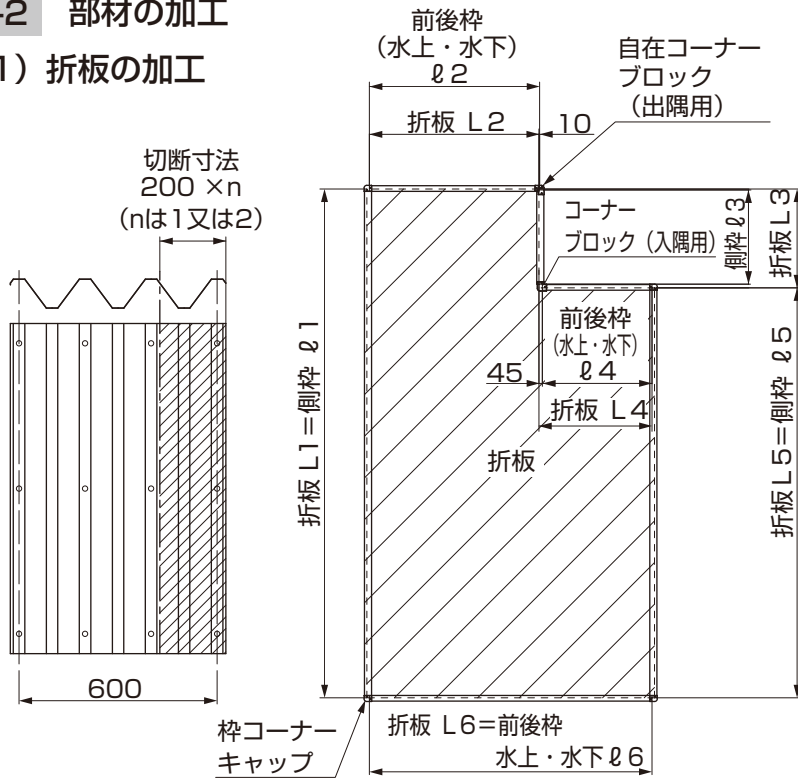


図4-3

図4-4

①折板の切断位置 (A部) が図4-3、図4-4 になるようにL4を決めて入隅部の折板を加工してください。

ポイント

- 切断の際はフェルトペンまたは、テープなどで切断位置をしるし切断します。
- ケガキ線で折板にキズをつけないでください。サビの原因となります。
- 折板から切粉を取除いてください。サビの原因となります。
- 切断寸法は折板の1山分 (200mm) の倍数になります。

(2) タイトフレームの加工

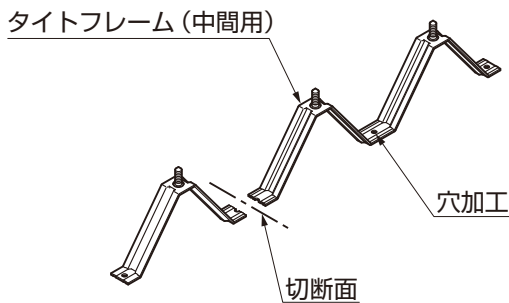


図4-5

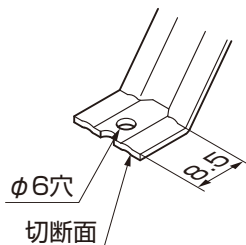


図4-6

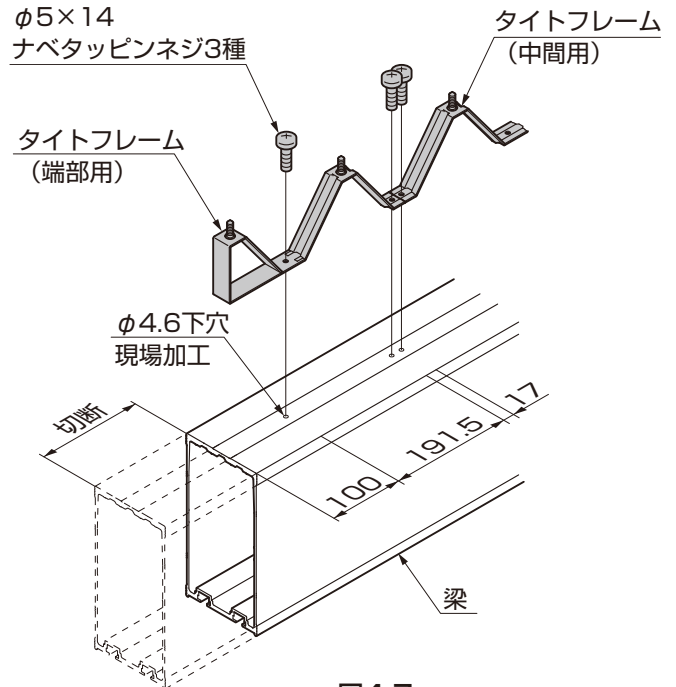


図4-7

ポイント

- 入隅部に梁が入る場合で切断寸法が600mm (タイトフレーム中間用1個分) の倍数でない場合、タイトフレームの切断加工が必要になります。

- ①タイトフレーム (中間用) を穴加工の真ん中で切断してください。(図4-5 参照)
- ②タイトフレーム (中間用) にφ6の穴加工をしてください。(図4-6 参照)
- ③梁に下穴をあけ直し、タイトフレームを「φ5×14 ナベタッピンネジ3種」で取付けてください。(図4-7 参照)
- ④タイトフレームの切断面にはタッチアップしてください。(図4-6 参照)

(3) 枠部材の加工

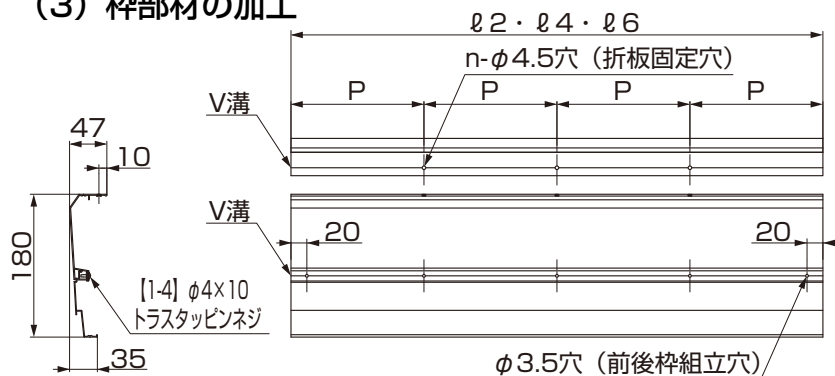


図 4-8 前後枠 (水上)

- ※ P : 折板固定穴はコーナブロック直近の山と折板の重なり部の山の位置にあけてください。
- ※ 上下部材の端部は【1-4】で固定してください。(600mm以内)

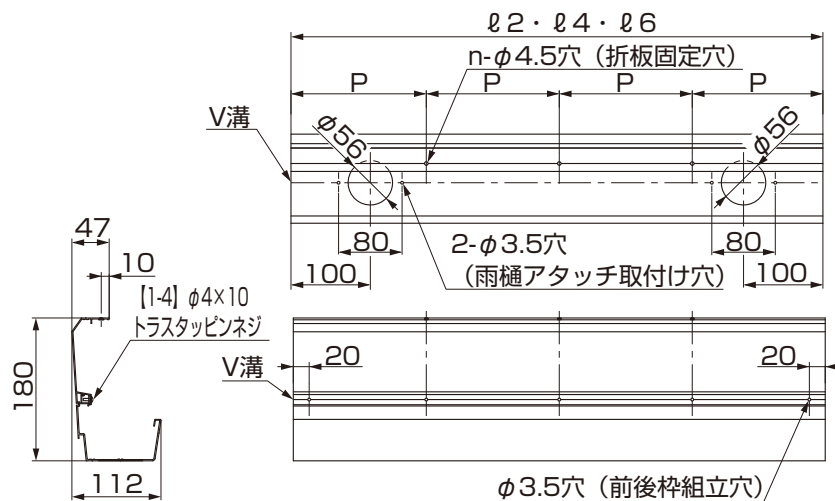


図 4-9 前後枠 (水下)

- ※ P : 折板固定穴はコーナブロック直近の山と折板の重なり部の山の位置にあけてください。
- ※ 上下部材の端部は【1-4】で固定してください。(600mm以内)
- ※ 雨樋アタッチ取付け穴および水抜き穴は柱側のみの片側加工になります。

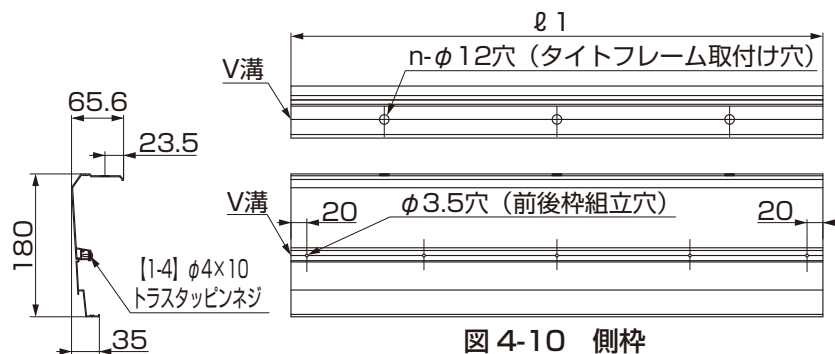


図 4-10 側枠

- ※ φ12の穴加工位置は本体基本取付け説明書参照してください。
- ※ 上下部材の端部は【1-4】で固定してください。

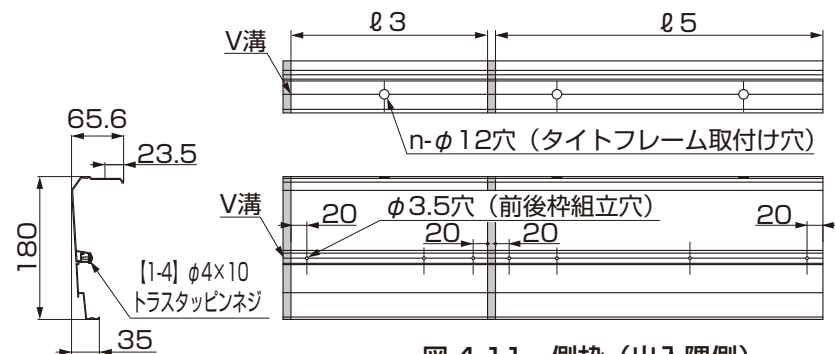


図 4-11 側枠 (出入隅側)

①前後枠、側枠を加工してください。

ポイント

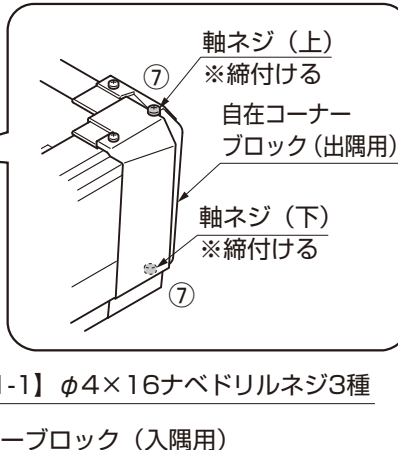
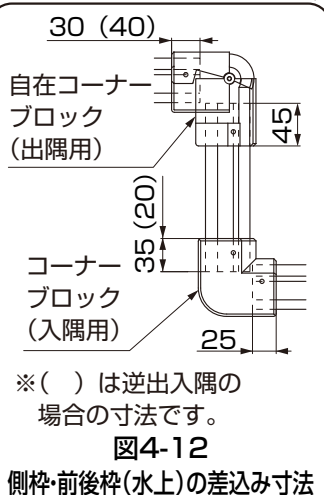
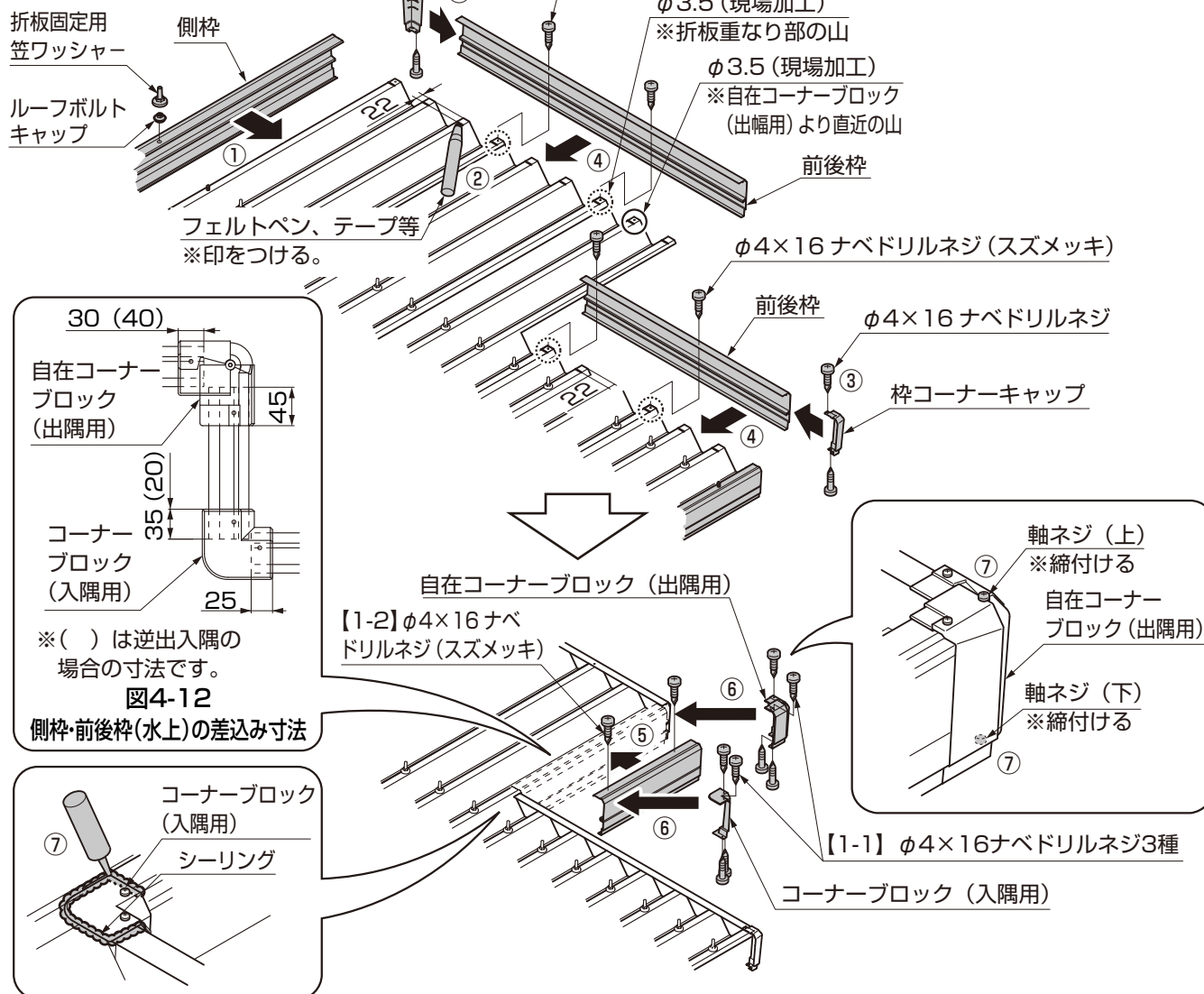
- 部材の切断長さは折板の寸法を基準にして求めています。(表4-2参照)

表4-2 部材切断寸法表

	側枠	前後枠
ℓ1	L1	-
ℓ2	-	L2-10
ℓ3	L3-40	-
ℓ4	-	L4-45
ℓ5	L5	-
ℓ6	-	L6

4. (つづき)

4-3 施工方法



ポイント

- コーナーブロックの側枠、前後枠の差込み寸法は図 4-12 を参照してください。
- 水下的場合は前後枠 (水下) に雨樋端部キャップを取付けてください。

- ①側枠をタイトフレームに本体に同梱の「折板固定用笠ワッシャー」、「ルーフトルトキャップ」で折板に取付けてください。
- ②折板の端部から 22mm の位置にフェルトペンまたはテープなどで「印」をつけてください。

ポイント

- サビの原因になるため、ケガキ線で折板にキズをつけないでください。

- ③本体の枠コーナーキャップを前後枠に本体に同梱の「φ4×16 ナベドリルネジ」で取付けてください。
- ④前後枠を折板の入隅直近の山および折板の重なり部に本体に同梱の「φ4×16 ナベドリルネジ (スズメッキ)」で取付けてください。
- ⑤入隅側に取付ける側枠を折板、タイトフレームに【1-2】で取付けてください。
- ⑥自在コーナーブロック (出隅用)、コーナーブロック (入隅用) を出入隅部の前後枠・側枠に【1-1】で取付けてください。
- ⑦自在コーナーブロック (出隅用) の軸ネジ (上・下) を締付けてください。
- ⑧コーナーブロック (入隅用) のまわりにシーリングをしてください。

ポイント

- 指定の箇所に必ずシーリングをしてください。

5. 正面台形の場合の施工

5-1 施工制限

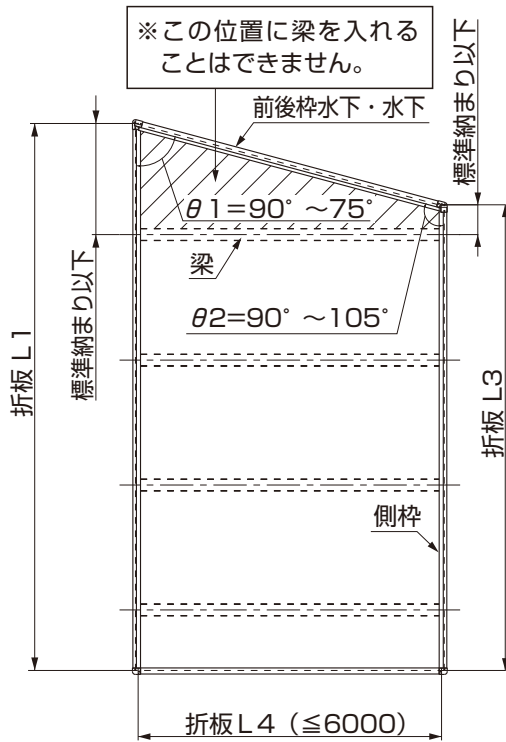


図5-1

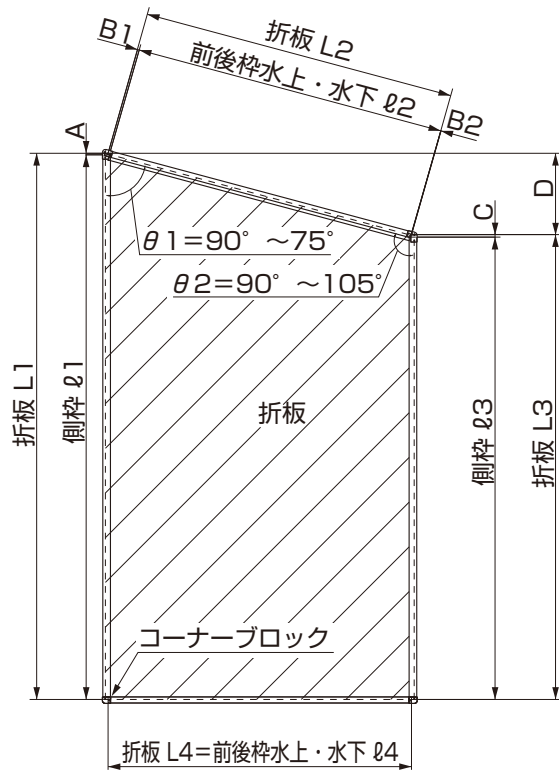


図5-2

表5-1 製作可能寸法表

タイプ	サイズ		柱本数	正面台形	タイプ	サイズ		柱本数	正面台形
	長さ	幅		D		D	長さ		幅
900・1500	55	30	4	最大	4500	55	30	6	550
	60	30		804		60	30		650
	55	55		900		55	55		510
	60	55		1200		60	55		610
	55	60		900		55	60		510
	60	60		1200		60	60		610
3000	55	30	4	804	6000	55	55	8	450
	60	30		804		60	55		450
	55	55		860		55	60		450
	60	55		1160		60	60		450
	55	60		860		55	30		450
	60	60		1160		60	30		450
	55	30	6	550	55	55	410		
	60	30		650	60	55	410		
	55	55		550	55	60	410		
	60	55		650	60	60	410		
	55	60		550					
	60	60		650					

表5-2 D寸法角度換算表

D	幅サイズ		
	30	55	60
~100	88°	89°	89°
~200	86°	88°	88°
~300	84°	87°	87°
~400	82°	86°	86°
~500	81°	85°	85°
~600	79°	84°	84°
~700	77°	83°	83°
~800	75°	82°	82°
~900	-	81°	81°
~1000	-	80°	81°
~1100	-	78°	80°
~1200	-	77°	79°

〔D寸法算出計算式〕

$$D = \text{枚数} \times 600 \times \tan(90 - \theta_1)$$

表5-3 振れ角θ1寸法表

	幅30	幅55	幅60
4本柱	75°~90°	77°~90°	79°~90°
6・8本柱	81°~90°	85°~90°	86°~90°

※振れ角θ1は上記の表の範囲で製作してください。

5. (つづき)

5-1 つづき

⚠ 注意

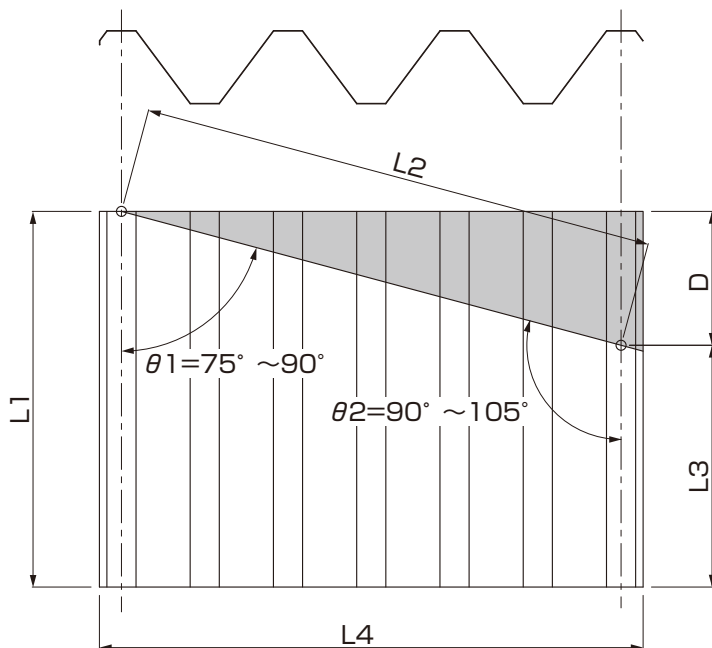
- 折板は必ず2本以上の梁（タイトフレーム）に取付けてください。また梁からの持出し寸法は標準納まり以下にしてください。

🔑 ポイント

- 正面台形は1台・2台用の設定となります。「3.断面納まり図」を参照して施工してください。
- 自在角度の範囲は75°～105° までとなります。
- 施作可能寸法表の寸法範囲内で施工してください。（図5-1、図5-2、表5-1、表5-2、表5-3参照）
- 敷地に合わせてL1、L3、L4を決めてください。
- 柱本数・柱スパンなどは長さL1、幅L4の長方形とみなしてそのサイズ、強度に準じて作製してください。（「D522（MAM-45）折板カーポート 基本・横連棟（梁135・200・240仕様）取付説明書」参照）

5-2 部材の加工

(1) 折板の加工



【L2寸法算出計算式】

$$L2 = \text{枚数} \times 600 \div \cos(90^\circ - \theta 1)$$

図5-3 折板切断部詳細

- ①折板は図5-3を参照の上、表5-2で求めた角度からD値を求めて切断してください。

🔑 ポイント

- 切断の際はフェルトペンまたは、テープなどで切断位置をしるし切断します。
- ケガキ線で折板にキズをつけないでください。サビの原因となります。
- 折板から切粉を取除いてください。サビの原因となります。

(2) 枠部材の加工

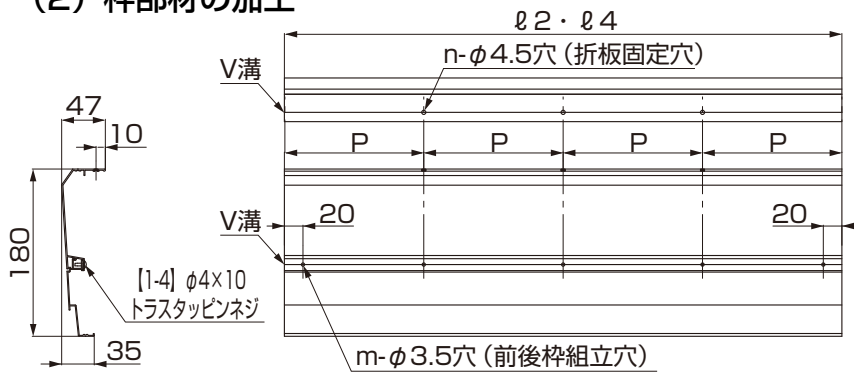


図5-4 前後枠(水上)

※P：折板固定穴はコーナブロック直近の山と折板の重なり部の山の位置にあけてください。

※上下部材は組立てが必要です。加工後【1-4】で組立ててください。(600mm以内)

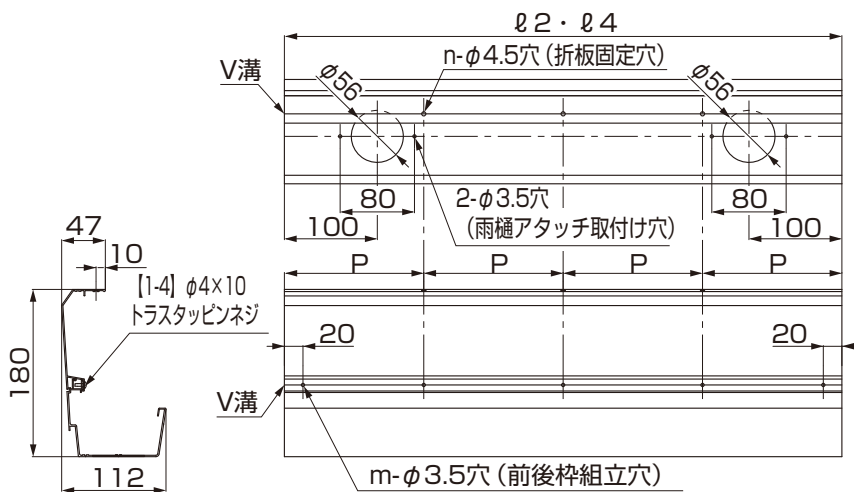
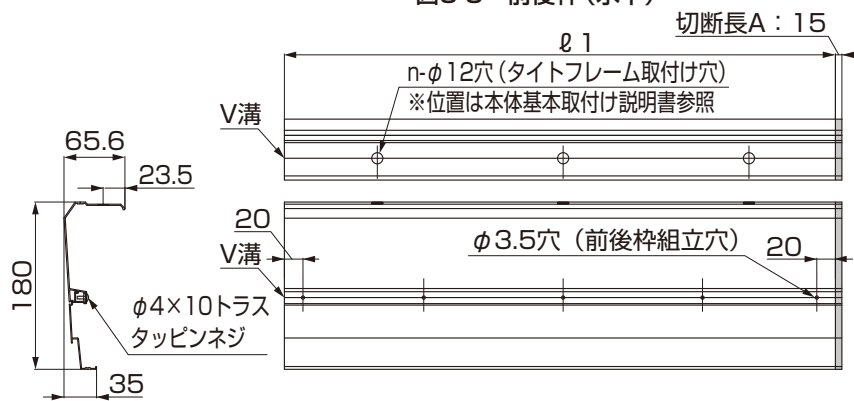


図5-5 前後枠(水下)

※P：折板固定穴はコーナブロック直近の山と折板の重なり部の山の位置にあけてください。

※雨どいアタッチ取付け穴および水抜き穴は水下側のみの片側加工になります。

※上下部材は組立てが必要です。加工後【1-4】で組立ててください。(600mm以内)



※上下部材の端部は20mmの位置にトラストタッピンねじで固定してください。(切断破材のネジを使用)

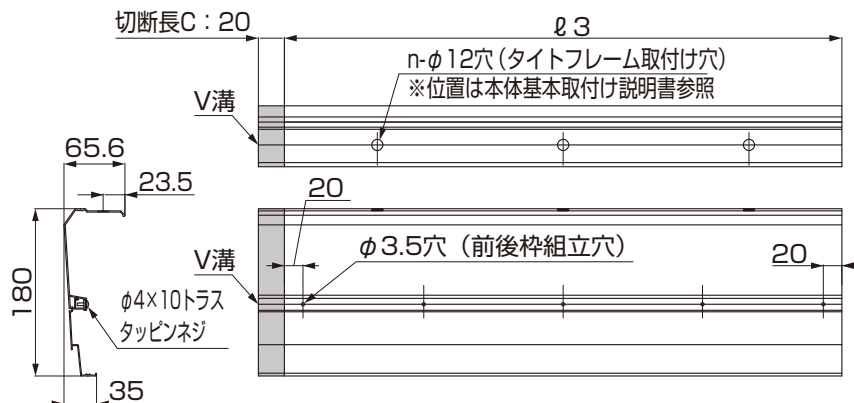


図5-6 側枠

①前後枠、側枠を加工してください。

表5-4 部材切断寸法表

	側枠	前後枠
φ1	L1-A	-
φ2	-	L2-(B1+B2)
φ3	L3-C	-
φ4	-	L4

※前後枠・側枠の切断長は折板の寸法を基準にして求めています。

A : 15

B1+B2 : 41

C : 20

5. (つづき)

5-3 施工方法

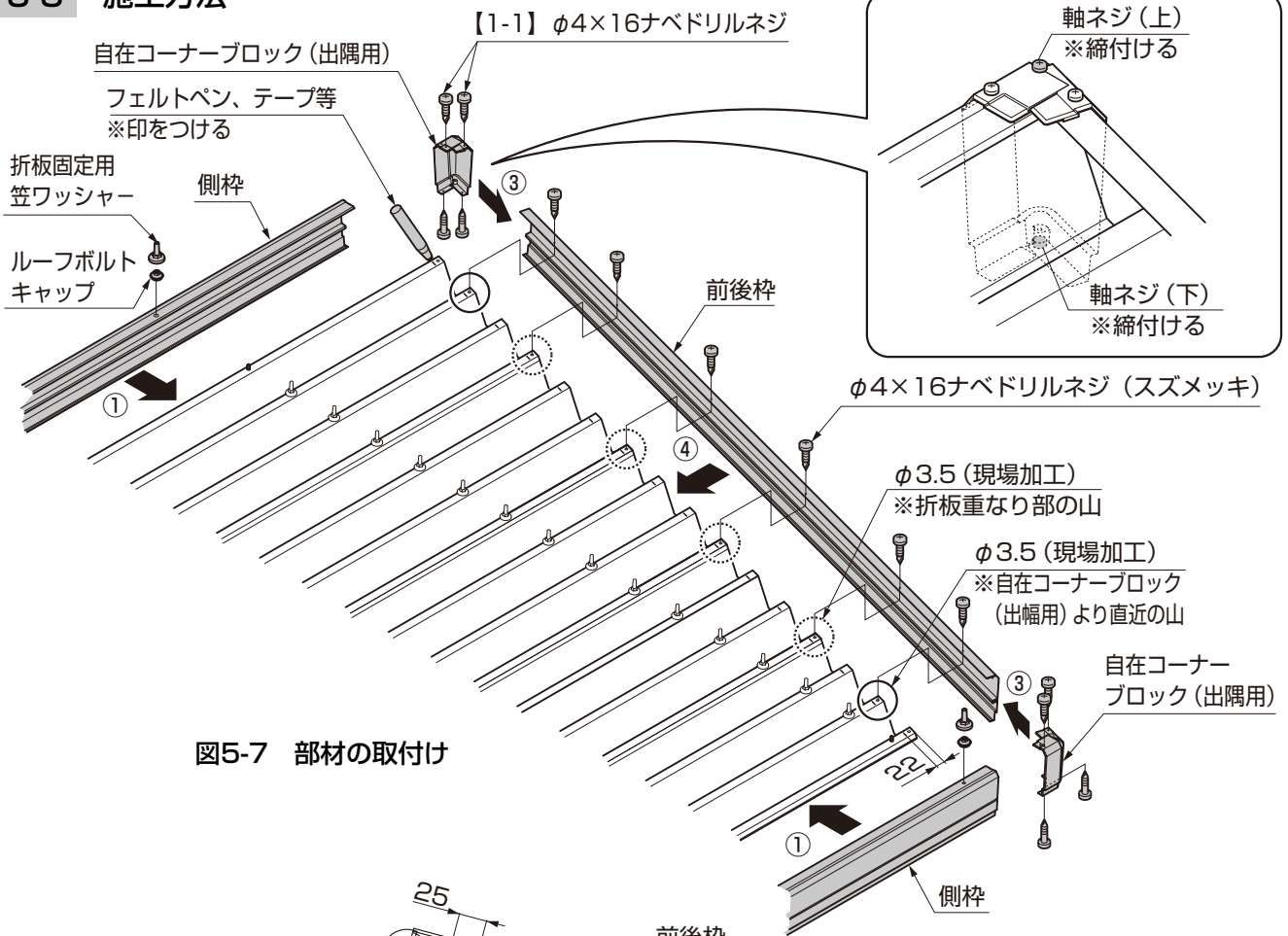


図5-7 部材の取付け

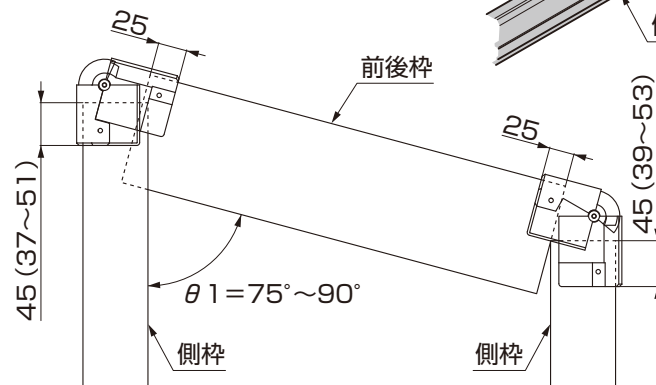


図5-8 前後枠・側枠の差込み寸法

ポイント

- コーナーブロックの側枠、前後枠の差込み寸法は図 5-8 を参照してください。
- 水下の場合は前後枠 (水下) に雨樋端部キャップを取付けてください。

- ① 側枠をタイトフレームに本体に同梱の「折板固定用笠ワッシャー」、「ルーフボルトキャップ」で折板に取付けてください。
- ② 折板の端部から22mmの位置にフェルトペンまたはテープなどで「印」をつけてください。

ポイント

- サビの原因になるため、ケガキ線で折板にキズをつけないでください。

- ③ 自在コーナーブロック (出隅用) を前後枠に【1-1】で取付けてください。
- ④ 前後枠を折板の重なり部および山に本体に同梱の「φ4×16ナベドリルネジ (スズメッキ)」で、自在コーナーブロック (出隅用) を側枠に【1-1】で取付けてください。
- ⑤ 自在コーナーブロック (出隅用) の軸ネジ (上・下) を締め付けてください。

6. 隅切りの場合の施工

6-1 施工制限

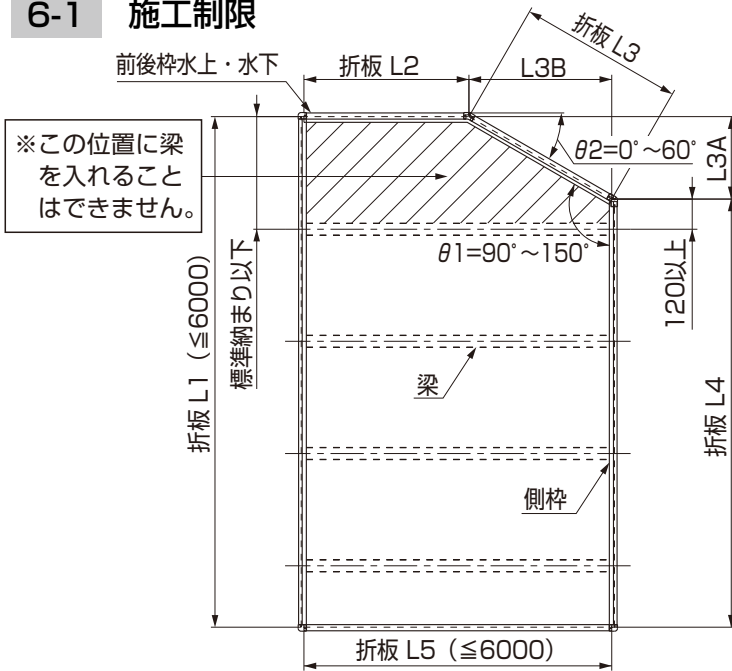


図6-1

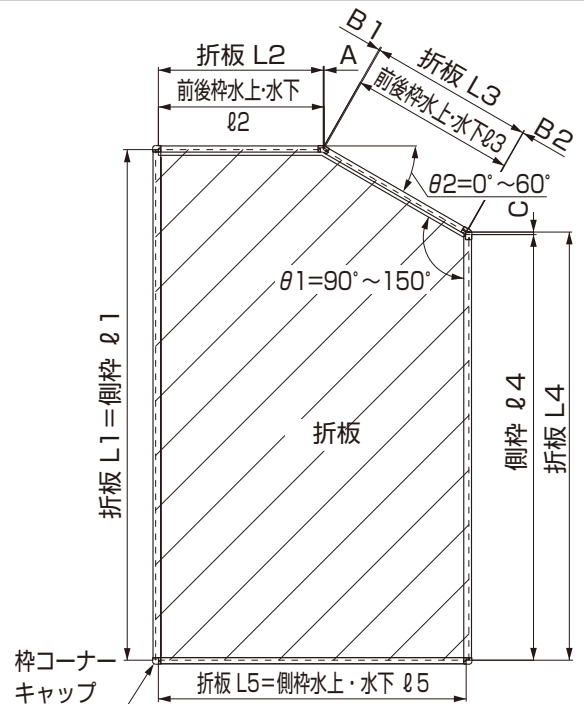


図6-2

表6-1 施工可能寸法表

タイプ	サイズ		柱本数	隅切り				
				L3A		L3B		
	長さ	幅		最小	最大	最小	最大	
900 ・ 1500	55	30	4	0	935	111	2878	
				0	1235	111	2878	
				0	935	111	5378	
				0	1235	111	5378	
				0	935	111	5878	
				0	1235	111	5878	
3000	55	30	4	0	935	111	2878	
				0	1235	111	2878	
				0	895	111	5378	
				0	1195	111	5378	
				0	895	111	5878	
				0	1195	111	5878	
	55	60	30	6	0	585	111	2878
					0	685	111	2878
					0	585	111	5378
					0	685	111	5378
					0	585	111	5878
					0	685	111	5878
4500	55	30	6	0	585	111	2878	
				0	685	111	2878	
				0	545	111	5378	
				0	645	111	5378	
				0	545	111	5878	
				0	645	111	5878	
	55	55	30	8	0	585	111	5378
					0	685	111	5378
					0	585	111	5878
					0	685	111	5878
					0	585	111	5878
					0	685	111	5878
6000	55	30	8	0	485	111	2878	
				0	585	111	2878	
				0	445	111	5378	
				0	545	111	5378	
				0	445	111	5878	
				0	545	111	5878	

表6-2 L3A・L3B寸法角度換算表(θ1)

L3A	L3B	L3B									
		~600	~1200	~1800	~2400	~3000	~3600	~4200	~4800	~5400	~6000
		50	95°	92°	92°	91°	91°	91°	91°	91°	91°
~100	99°	95°	93°	92°	92°	92°	91°	91°	91°	91°	91°
~150	104°	97°	95°	94°	93°	92°	92°	92°	92°	92°	91°
~200	108°	99°	96°	95°	94°	93°	93°	92°	92°	92°	92°
~250	113°	102°	98°	96°	95°	94°	93°	93°	93°	93°	92°
~300	117°	104°	99°	97°	96°	95°	94°	94°	94°	93°	93°
~350	120°	106°	101°	98°	97°	96°	95°	94°	94°	94°	93°
~400	124°	108°	103°	99°	98°	96°	95°	95°	95°	94°	94°
~450	127°	111°	104°	101°	99°	97°	96°	95°	95°	95°	94°
~500	130°	113°	106°	102°	99°	98°	97°	96°	95°	95°	95°
~550	133°	115°	107°	103°	100°	99°	97°	97°	96°	95°	95°
~600	135°	117°	108°	104°	101°	99°	98°	97°	96°	96°	96°
~650	137°	118°	110°	105°	102°	100°	99°	98°	97°	96°	96°
~700	139°	120°	111°	106°	103°	101°	99°	98°	97°	97°	97°
~750	141°	122°	113°	107°	104°	102°	100°	99°	98°	98°	97°
~800	143°	124°	114°	108°	105°	103°	101°	99°	98°	98°	98°
~850	145°	125°	115°	110°	106°	103°	101°	100°	99°	98°	98°
~900	146°	127°	117°	111°	107°	104°	102°	101°	99°	99°	99°
~950	148°	128°	118°	112°	108°	105°	103°	101°	100°	99°	99°
~1000	149°	130°	119°	113°	108°	106°	103°	102°	100°	99°	99°
~1050	150°	131°	120°	114°	109°	106°	104°	102°	101°	100°	100°
~1100	-	133°	121°	115°	110°	107°	105°	103°	102°	100°	100°
~1150	-	134°	123°	116°	111°	108°	105°	103°	102°	101°	101°
~1200	-	135°	124°	117°	112°	108°	106°	104°	103°	102°	101°
~1250	-	136°	125°	118°	113°	109°	107°	105°	103°	102°	102°
~1300	-	137°	126°	118°	113°	110°	107°	105°	104°	102°	102°

6. (つづき)

6-1 つづき

⚠ 注意

●折板は必ず2本以上の梁(タイトフレーム)に取付けてください。また梁からのもち出し寸法は標準納まり以下にしてください。

🔑 ポイント

- 出入隅は1台・2台用の設定となります。「3. 断面納まり図」を参照して施工してください。
- 自在角度の範囲は0°～60°までです。
- 施工可能寸法表の寸法範囲内で施工してください。(図6-1、図6-2、表6-1、表6-2参照)
- 敷地に合わせてL1、L3A、L3B、L5を決めてください。
- L3の寸法は切断した折板から実測してください。
- 柱本数・柱スパンなどは長さL1、幅L5の長方形とみなしてそのサイズ、強度に準じて施工してください。(D522 (MAM-45)、D523 (MAM-46)「取付説明書 -基本・横連棟-」、D524 (MAM-48)「取付説明書 -縦連棟-」参照)
- 施工する隅切りの角度をL3A、L3Bの寸法角度換算表から算出してください。

6-2 部材の加工

(1) 部材切断寸法

表6-3 部材切断寸法表

	側枠	前後枠
ℓ1	L1	-
ℓ2	-	L2+A
ℓ3	-	L3+B1-B2
ℓ4	L4-C	-
ℓ5	-	L5

※側枠・前後枠の切断長は折板の寸法を基準にして求めています。

①上表を確認してください。

表6-4 切断寸法A・B1・B2・Cの代表的な数値

θ1	θ2	A	B1	B2	C
90°～	0°～	0	0	11	23
95°～	5°～	1	1	11	24
100°～	10°～	2	2	11	26
105°～	15°～	3	3	11	28
110°～	20°～	4	4	10	29
115°～	25°～	6	6	10	31
120°～	30°～	7	7	9	34
125°～	35°～	8	8	8	36
130°～	40°～	9	9	6	39
135°～	45°～	10	10	5	42
140°～	50°～	12	12	3	45
145°～	55°～	13	13	0	50
150°	60°	14	14	-4	55

(2) 折板の加工

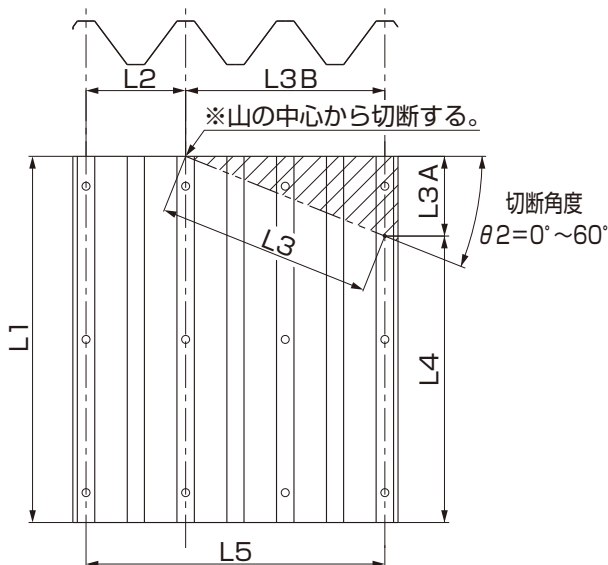


図6-3

①折板は図6-3を参照の上、山の中心から角度を設定して切断します。

🔑 ポイント

- 切断の際はフェルトペンまたは、テープなどで切断位置をしるし切断します。
- ケガキ線で折板にキズをつけないでください。サビの原因となります。
- 折板から切粉を取除いてください。サビの原因となります。

6. (つづき)

6-2 つづき

(3) 枠部材の加工

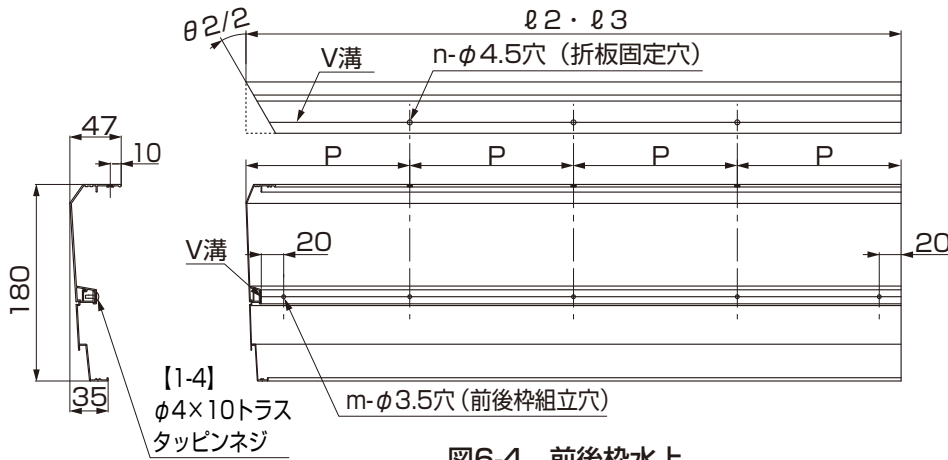


図6-4 前後枠水上

- ※ ℓ2・ℓ3は角度切断が対称加工になります。
- ※ P：折板固定穴はコーナブロック直近の山と折板の重なり部の山の位置にあけてください。
- ※ ℓ3の上下部材は組立てが必要です。加工後【1-4】で組立ててください。(600mm以内)
- ※ ℓ2の上下部材の端部は【1-4】で固定してください。

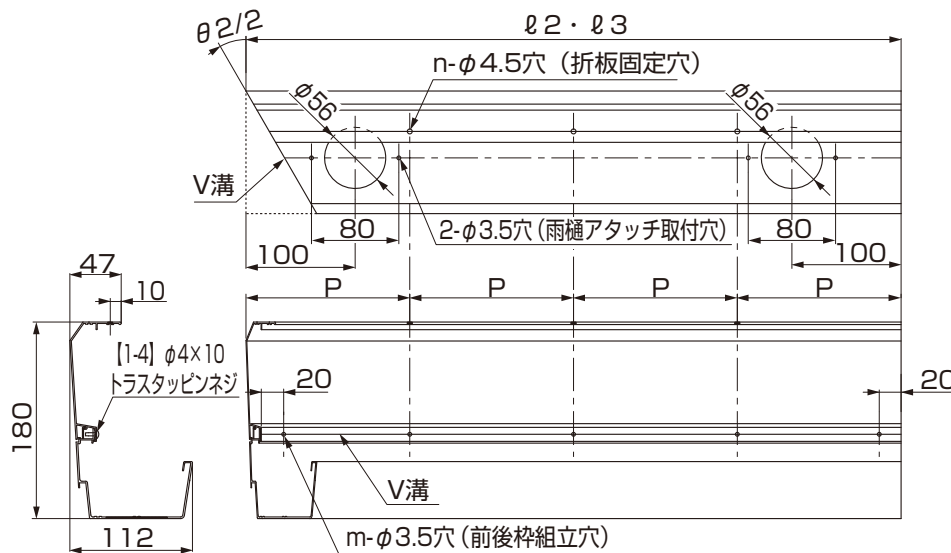


図6-5 前後枠水下

- ※ P：折板固定穴はコーナブロック直近の山と折板の重なり部の山の位置にあけてください。
- ※ 雨樋アタッチ取付け穴および水抜き穴は片側のみの加工でℓ2の場合は側枠側、ℓ3の場合は角度切断側のみになります。
- ※ ℓ3の上下部材は組立てが必要です。加工後【1-4】で組立ててください。(600mm以内)
- ※ ℓ2の上下部材の端部は【1-4】で固定してください。
- ※ 隅切り部の丸樋は、必要長さを別途手配してください。

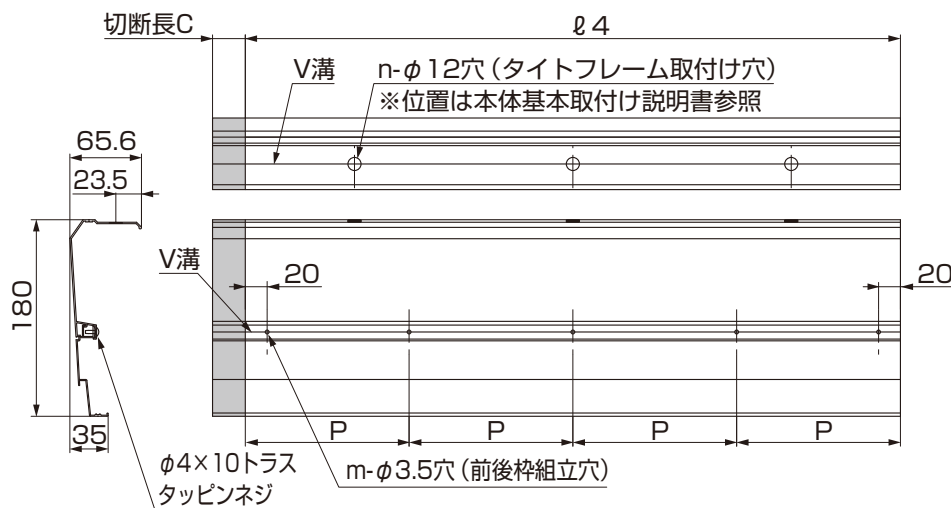


図6-6 側枠

- ※ 上下部材の端部は20mmの位置にトラス タッピンねじで固定してください。(切断破材のネジを使用)

①前後枠、側枠を加工してください。

6. (つづき)

6-3 施工方法

コーナーブロック (隅切り)

【1-3】φ4×16
ナベタッピンネジ

前後枠
(水上)

【1-1】φ4×16
ナベドリルネジ3種

φ5穴加工

前後枠連結金具
(自在) A

図6-7

前後枠 (水上)

コーナーブロック
(隅切り)

【1-1】φ4×16
ナベドリルネジ3種

φ5穴加工

前後枠連結金具
(自在) A

前後枠
(水下)

雨樋端部
キャップ
φ4×16
ナベドリルネジ

前後枠連結金具 (自在) B

図6-8

前後枠 (水下)

【1-3】φ4×16
ナベタッピンネジ

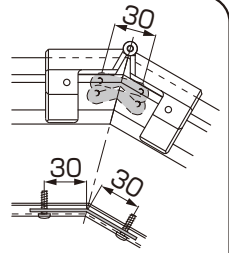


図6-9
前後枠連結
金具取付位置

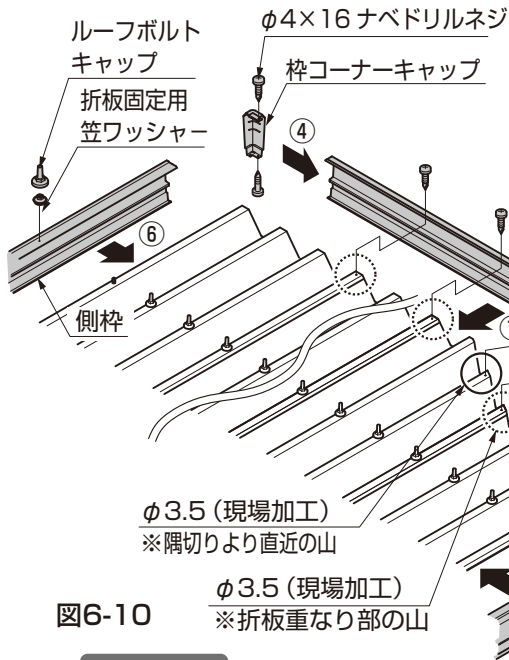
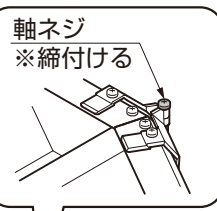
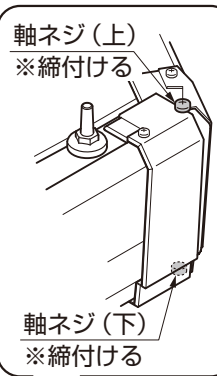


図6-10

側枠



軸ネジ
※締付ける



軸ネジ (上)
※締付ける

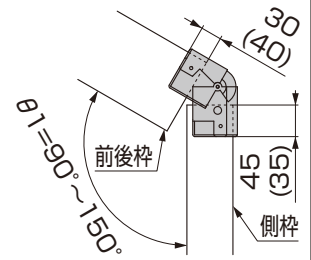
軸ネジ (下)
※締付ける

φ4×16
ナベドリルネジ
(スズメッキ)

前後枠

【1-1】φ4×16
ナベドリルネジ3種

自在コーナー
ブロック (出隅用)



※ () は逆隅切りの場合の寸法です。

図6-11

前後枠・側枠の差込み寸法

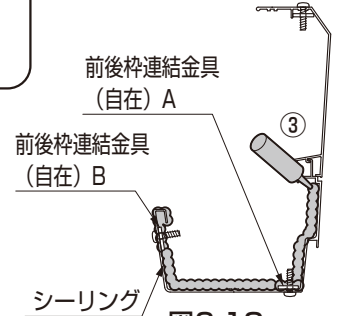


図6-12

シーリング (前後枠 (水下))

ポイント

- コーナーブロックへの前後枠 (水上) (水下) の差込みは、留め切りで納まるようにしてください。
- 水下の場合は前後枠 (水下) に雨樋端部キャップを取付けてください。

- ①コーナーブロック (隅切り) を前後枠に【1-1】で取付けてください。(図6-7参照)
- ②前後枠連結金具 (自在) Aを前後枠に当てがい、前後枠のV溝部にφ5の下穴をあけ【1-4】で固定してください。(図6-7参照)

ポイント

- 前後枠 (水下) を連結する場合は、前後枠連結金具 (自在) Bも取付け角度に合わせ固定してください。(図6-8参照)
- 前後枠連結金具 (自在) A、Bの取付け位置は図6-9を参照してください。

- ③前後枠 (水下) の樋の接続部および前後枠連結金具の周りにシーリングをしてください。(図6-12参照)

ポイント

- 前後枠 (水下) の場合は、前後枠の継ぎ目にもシーリングをしてください。(図6-12参照)
- 指定の箇所には必ずシーリングをしてください。

- ④本体の枠コーナーキャップを前後枠に本体に同梱の「φ4×16ナベドリルネジ」で取付けてください。(図6-10参照)
- ⑤自在コーナーブロック (出隅用) を前後枠に【1-1】で取付けてください。(図6-10参照)
- ⑥側枠をタイトフレームに「折板固定用笠ワッシャー」、「ルーフトップキャップ」で折板に取付けてください。(図6-10参照)
- ⑦前後枠を隅切り直近の山および折板の重なり部に本体同梱の「φ4×16ナベドリルネジ (スズメッキ)」で、取付けてください。(図6-10参照)
- ⑧自在コーナーブロック (出隅用) とコーナーブロック (隅切り) の軸ネジ (上・下) を締め付けてください。(図6-10参照)